

## 集会アピール

JR 東日本労働組合松本運輸区分会は 4 月 22 日「中央公民館 M ウィング」において「会社の理不尽を正し 風通し良く働き甲斐のある職場を目指す大集会」を開催し、組織内外から多くの仲間の結集のもと、成功裡に終了した。そして、発生した事象に対して原因究明を疎かにした会社の責任追及や、懲罰的な異動、ハラスメントなどのコンプライアンス違反を根絶して、全ての JR 労働者が安心して働ける環境を創り出して行くことを全参加者で確認した。

昨年 9 月、姨捨駅構内において後退検知による非常ブレーキ動作という事象が発生した。会社はミスが発生させた社員に対し再教育も行わず乗務から外し、長時間にわたる聴取と概況報告書および実質的な反省文を作成させた。当事者は急激な環境の変化や、支社幹部、管理者からの人格を否定するような発言を受け、心身が不安定となり会社を休まざるを得なくなった。また事象に対して首都圏本部は「不問」としたにも関わらず、職場復帰後 2 日目に転居を伴う転勤の内示が出された。これらの事実はパワーハラスメントと言わざるを得ず、JR 東日本グループ コンプライアンスアクションプラン「法令遵守及び企業倫理に関する指針」の人権尊重に抵触している。断じて容認することはできない。

私たちは、職場で発生した理不尽を職場に広め、怒りを共有することを 2024 春闘勝利に向けた課題に据えた。そして、組合員一人ひとりが職場の JR 労働者に事実を伝える取り組みを通して職場に波風を立て、要求に迫る回答を引き出すことができた。

今、職場には会社に対する不満や不信が充満している。私たちは、これらの声に耳を傾け、駆け込み寺たる労働組合を創り出さなくてはならない。「労働条件・労働環境の改善を対等の立場で会社と交渉できるのは労働組合が唯一無二の存在」である。私たちは JR 労働者の利益・雇用を守り、安全、安心かつ健康で働ける職場を実現するために、総力を挙げて組織強化・拡大を目指す。そして「東日本ユニオンのファン」を増やし、誰からも信頼される労働組合を松本運輸区分会から創り出す。

私たちは会社の理不尽な対応を絶対許さず、労働組合運動を通して風通し良い職場環境の実現を目指す。

以上、アピールする。

2024 年 4 月 22 日  
JR 東日本労働組合  
松本運輸区分会